

昭和 54 年 春 季 年 会

講 演 予 稿 集

於 東京大学理学部化学教室講堂

昭和 54 年 5 月 8 日 (火) ~ 11 日 (金)

日 本 天 文 学 会

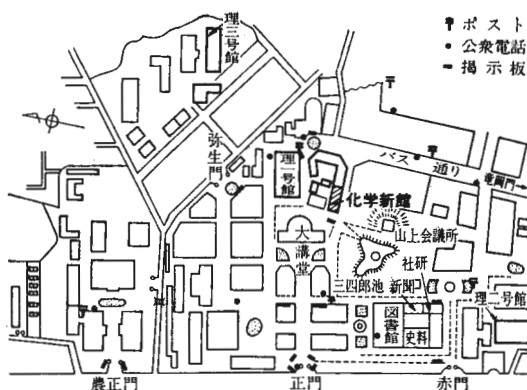
日本天文学会 1979年 春季年会

プログラム

日 時 昭和54年5月8日(火)～11日(金) 午前9時～午後5時
 場 所 東京大学理学部化学教室講堂(下図参照) 電話 03-812-2111 (大学)
 〒113 東京都文京区本郷 7-3-1

午前	9時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	講演番号	
5月8日 (火)	銀河系・ 恒星系		銀河, 宇宙論			銀河, 宇宙論		高エネルギー 天文学			1～45	
5月9日 (水)	太 陽		評議員会			太 陽		観測・測定装置, 情報処理			46～89	
5月10日 (木)	太 陽 系		天体力学		記念写真		天体力学 位置天文学		総 会		懇親会	90～123
5月11日 (金)	恒 星		新旧合同 理事会			恒 星		星間物質・星雲			124～167	

- ☆ 講演時間は一題について7分です。講演者は割当時間を厳守して下さい。
- ☆ スライドは透視した時に正しい上下左右関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に5mm位の幅の赤線をつけて下さい。ピラは用いず、スライドは講演時間内に終了できる枚数にして下さい。オーバーヘッドプロジェクターも用意いたしますので希望の方は御利用下さい。
- ☆ 今回は講演開始が午前9時。講演終了が午後5時です。
- ☆ 年会経費の一部にあてるため、出席者から参加費を徴収します。一般 500円、学生 300円
- ☆ 9日午前の講演終了後より評議員会、10日午後の講演終了後(午後3時45分頃)より総会(天体発見賞贈呈、諸報告、新奨学金制度の件、昭和54年度予算、役員改選の件についてなど)、11日午前の講演終了後より新旧合同理事会を開催します。
- ☆ 記念写真撮影は10日午前の講演終了後行います。
- ☆ 懇親会は10日午後の講演終了後山上会議所において行われます。



第 1 日 5 月 8 日 午前 9 時より

1. 太陽近傍の M 型巨星の空間分布: 三上孝雄 (東大理), 石田蕙一 (東京天文台)
2. 赤外線による銀河面のサーベイ (楕座方向): 川良公明, 小林行泰, 佐藤修二, 奥田治之 (京大理), 浜島清利, 石田蕙一 (東京天文台)
3. 晩期 M 型星の掃天観測——たて座領域: 浜島清利, 石田蕙一 (東京天文台), 三上孝雄 (東大理), 川良公明, 小林行泰, 佐藤修二, 奥田治之 (京大理)
4. 銀河の極方向に於ける halo dwarf の重元素組成分布: 吉井 譲, 大道 卓 (東北大理)
5. King のモデルによる銀河星団の構造の解析: 小和田稔, 横尾武夫 (大阪教育大)
6. 銀河系内部におけるダストの熱輻射: 小田直樹, 奥田治之, 舞原俊憲 (京大理)
7. K-9M-64 号機による銀河面の多色掃天観測: 野口邦男, 宇山喜一郎, 早川幸男, 松本敏雄, 村上 浩 (名大理)
8. 近赤外観測から求めた我が銀河の渦状腕構造: 村上浩, 早川幸男, 松本敏雄, 宇山喜一郎 (名大理)
9. 我が銀河中心部の構造: 松本敏雄, 早川幸男, 村上 浩, 宇山喜一郎 (名大理)
10. 銀河系中心部の扇状ジェット: 福井康雄 (東大理)
11. ノース・ポーラ・スパーの電波微細構造: 祖父江義明 (MPI ボン, 名大理), W. ライヒ (ボン大学)
(休 憩)
12. 軸対称恒星系の数値計算: 渡辺好夫, 稲垣省五, 加藤正二, 田中 裕 (京大理)
13. ガス状 Toomre 円盤の大局固有モード: 波数スペクトルと安定性: 野口正史, 家 正則 (東大理)
14. (球状星団+局部星雲)系と銀河系の質量分布: 宮本昌典 (東京天文台), 佐藤耕一 (東大理), 大橋 満 (東京天文台)
15. 恒星系の重力熱的破局について: 稲垣省五 (京大理)
16. 原始銀河の fragmentation について: 相川利樹 (東北大理)
17. 横向き銀河 NGC 5866 の表面測光 II: 浜部 勝, 小平桂一 (東大理), 岡村定矩, 高瀬文志郎 (東京天文台)
18. E, S0, S 型銀河の扁率について: 松尾 厚, 大脇直明 (東京学芸大)
19. S, S0 銀河の偏平度の統計 II: 岡村定矩, 高瀬文志郎 (東京天文台), 浜部 勝, 中田好一, 小平桂一 (東大理)
20. 円盤状銀河中心部の楕円体構造: 高柳悦夫, 水野孝雄 (東京学芸大)
21. E 型銀河の質量と半径: 会津 晃 (立教大理)
22. 銀河自転ベクトルの統計: 家 正則, 浜部 勝 (東大理)

第 1 日 5 月 8 日 午後 1 時 30 分より

23. 銀河核 XXII. NGC 4151 の連続スペクトル: 兼古 昇 (北大理)
24. Ma. 297 の分光観測から得られる物理特性: 谷口義明, 田村真一 (東北大理)
25. Markarian 59; A Supergiant HII Region in NGC 4861: 作花一志, 西田 稔 (京大理), 若松謙一 (岐阜大), 寿岳 潤 (東京天文台)
26. BL Lac 型天体の基底成分: 菊池 仙 (東京天文台), 昆野正博 (京大理)
27. 銀河中心核の爆発による巨大 HII 領域の形成: 西村雅樹 (北大理)
28. 銀河・準星電波ジェットのアクリション: 藪下 信 (京大工)
29. 電波銀河における相対論的爆風波の形成: 横沢正芳 (北大理)
30. Schwarzschild 時空での降着円盤の振動について: 福江 純, 加藤正二 (京大理)
31. 非球対称銀河団に於るガスの力学と X 線輻射: 平山雄三, 池内 了 (北大理)
32. IGM に対する銀河形成時の Eject Gas の影響: 田中 裕 (京大理), 池内 了 (北大理)
33. 熱い輻射場中の星の溶解: 加藤万里子 (立教理), 野本憲一 (茨城大理), 杉本大一郎 (東大教養)
34. エントロピー擾動と宇宙黒体輻射: 富田憲二 (広大理論研)
(休 憩)
35. 原始宇宙乱流の時間変化について: 田辺健茲 (広大理論研)
36. 非球対称重力崩壊の一般的相対論扱い: 東 孝博, 富田憲二 (広大理論研)
37. X 線天文衛星「はくちょう」の観測性能について: 小田 稔, 田中靖郎, 松岡 勝, 小川原嘉明, 村上敏夫, 小山 勝二, 井上 一, 大橋隆哉, 田原 譲 (東大宇宙研), 早川幸男, 榎野文命, 山下広順, 長瀬文昭, 国枝秀世

- (名大理), 宮本重徳, 常深 博 (阪大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 吉森正人 (立教大理)
38. X線天文衛星「はくちょう」観測速報 I: 宮本重徳 (阪大理), 小田 稔, 田中靖郎, 松岡 勝, 小川原嘉明, 村上敏夫, 小山勝二, 井上 一, 大橋隆哉, 田原 譲 (東大宇宙研), 早川幸男, 榎野文命, 山下広順, 長瀬文昭, 国枝秀世 (名大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 常深 博 (阪大理), 吉森正人 (立教大)
 39. X線天文衛星「はくちょう」観測速報 II: 田中靖郎, 小田 稔, 松岡 勝, 小川原嘉明, 村上敏夫, 小山勝二, 井上 一, 大橋隆哉, 田原 譲 (東大宇宙研), 早川幸男, 榎野文命, 山下広順, 長瀬文昭, 国枝秀世 (名大理), 宮本重徳, 常深 博 (阪大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 吉森正人 (立教大理)
 40. North Polar Spur の軟X線構造: 岩波秀樹, 早川幸男, 国枝秀世, 長瀬文昭, 山下広順 (名大理)
 41. North Polar Spur と Cygnus Loop の軟X線輝線スペクトル: 大橋隆哉, 井上 一, 小山勝二, 松岡 勝, 田中靖郎 (東大宇宙研), 常深 博 (阪大理)
 42. SNR における HI 雲の蒸発: 常深 博 (阪大理), 井上 一 (東大宇宙研)
 43. Magnetic Accretion Disk の構造について: 堀内利得, 富松 彰 (広大理)
 44. 高密度星のまわりの降着円盤について: 奥田 亨 (北海道教育大函館分校)
 45. ニュートンの運動方程式の拡張 IV: “ブラックホール”≡QSO: 全 麒在 (朝鮮大理)

第 2 日 5 月 9 日 午前 9 時より

46. 惑星間空間における太陽磁場の構造: 鍋木 修, 吉井 譲 (東北大理)
 47. 太陽風速度の 3 次元分布について: 柿沼隆清, 鷺見治一, 小島正宜 (名大空電研)
 48. 太陽風 “コア”・“ハロー” 電子と惑星間静電ポテンシャル: 菊地 弘 (Max-Planck 研究所・日大理工)
 49. 光球微細構造粒 IV 状斑の分裂について: 北井礼三郎, 川口市郎 (京大理)
 50. 光球微細構造 V: 川口市郎 (京大理)
 51. 粒状斑の同期的変化について: 小田進幸 (兵庫医大)
 52. 黒点磁場の測定: 川上 肇 (東大理), 牧田 貢 (東京天文台)
 53. コロナルレインストリーマーの形と運動: 黒河宏企 (飛騨天文台)
 54. 静穏紅炎の電離カルシウム輝線強度 II: 久保田淳 (花山天文台)
 55. 線強度比から求めた EUV 輝線放射の Weakening: 西川 宝 (京大理), 神野光男 (飛騨天文台)
 56. Weakening を考慮した太陽 EUV 輝線解析: 船越康宏, 神野光男 (飛騨天文台)
- (休 憩)
57. 彩層 EUV スペクトルの成長曲線: 津田都夫, 定金晃三 (大阪教育大), 神野光男 (飛騨天文台)
 58. 硬X線源のコロナ説: 大木健一郎 (東京天文台)
 59. 1978 年 10 月 15 日リム・イベントについて: 面高俊宏 (杏林大), 加藤龍司, 河鱒公昭, 小川英夫, 藤下光身 (名大理)
 60. フレアに伴う高温ループ内のエネルギー収支: 永井福郎 (東大理)
 61. 黒点・白斑の Global な Energy Balance (予備報告): 平山 淳, 岡本富三 (東京天文台)
 62. ダークフィラメントへの物質供給機構 II: 常田佐久 (東大理), 内田 豊 (東京天文台)
 63. 太陽紅炎の Sandwich Model: 神野光男 (飛騨天文台)
 64. 上昇する磁束の 2 次元 MHD シミュレーション: 柴田一成 (京大理)
 65. 太陽の 5 分振動の理論的研究: 尾崎洋二 (東大理), G. Berthomien, J. Provost, A. Rocca (Nice 天文台), A. Cooper, D. Gough (Cambridge 大)
 66. 太陽電波 S 成分の観測: 中島 弘 (東京天文台)
 67. 17 GHz 帯小規模バーストの特徴: 甲斐敬造 (東京天文台)

第 2 日 5 月 9 日 午後 1 時 30 分より

68. 多重構造を有する 17 GHz 電波バースト: 小杉健郎 (東京天文台)
69. SDF に伴って発生した μ 波電波強度の減少: 柴崎清登 (名大空電研)
70. 35 GHz に於ける太陽面輝度分布: 河鱒公昭, 藤下光身, 小川英夫 (名大理)
71. μ 波領域における太陽の 5 分振動の観測: 森田耕一郎, 鯉目信三 (名大空電研)

72. 太陽電波 III 型バーストの数値実験 II: 高倉達雄 (東大理)
73. PZT プレート自動測定機: 中嶋浩一, 吉成正雄, 小熊 巖 (東京天文台)
74. シュミット原板の自動測定装置: 前原英夫, 野口 猛, 高瀬文志郎 (東京天文台)
75. レーザ望遠鏡の計算機制御: 土屋 淳, 飯塚吉三 (東京天文台)
76. 月レーザ測距装置のソフトウェア: 平山智啓 (東京天文台)
77. 国内 VLBI による基線, 星の位置, 時刻同期誤差の推定精度: 河野宣之, 高橋富士信, 小池国正 (電波研鹿島)
78. ザイデル収差係数の微係数: 山下泰正 (東京天文台)

(休 憩)

79. F1.4 写野 17 度の天体カメラの試作: 小林義生 (海技大)
80. 多色偏光測光装置 III. 試験観測: 昆野正博 (京大理), 菊池 仙, 三上良孝 (東京天文台)
81. 強偏光天体の探索 I. 装置の概要: 三上良孝, 菊池 仙, 柴崎 肇 (東京天文台), 昆野正博 (京大理)
82. 30 cm 太陽気球望遠鏡: 守山史生, 平山 淳, 清水一郎, 浜名茂男, 徳家 厚, 清水保夫 (東京天文台)
83. 気球搭載大型望遠鏡の追尾制御: 矢島信之, 小鍛冶繁, 橋野 賢 (機械技研), 小平桂一, 田中 済 (東大理), 西村 純 (東大宇宙研)
84. 円板及び環状型電波源のドリフトカーブについて: 川口則幸, 浜本直和 (電波研鹿島)
85. 走査相関フィルタによる 2 次元アンテナパターンの測定: 高橋富士信 (電波研鹿島)
86. 新しい 16 素子太陽電波干渉計データ処理システムについて: 藤下光身, 秋田圭介, 梶原好生, 河鱈公昭, 山内康善 (名大理)
87. 窒素冷却受信機による CO 分子の観測: 稲谷順司 (東大理), 小平真次, 石井孝一 (木更津高専), 宮沢敬輔 (東京天文台), 鷹野敏明, 小川英夫 (名大理)
88. 大型宇宙電波望遠鏡: 赤羽賢司, 田中春夫, 森本雅樹, 海部宣男, 長根 潔, 平林 久, 宮沢敬輔, 秦 茂, 東條 新, 宮地竹史, 井上志津代 (東京天文台), 近田義広, 井上 允 (東大理), 石黒正人 (名大空電研)
89. 45 m 電波望遠鏡の鏡面精度について: 海部宣男, 宮澤敬輔, 森本雅樹, 赤羽賢司, 田中春夫 (東京天文台)

第 3 日 5 月 10 日 午前 9 時より

90. にせ黄道光の観測: 田鍋浩義, 嵩地 厚, 宮下曉彦, 斎藤馨児 (東京天文台)
91. 1978 年 3 月 24 日他 3 夜の月食偏光測光観測: 関口直甫 (東京天文台)
92. 屈折率の変化による反射率の理論的变化: 嶋坂敬郎 (京大外大)
93. 満月時の全面面の Albedo と全面面の平均反射率: 熊谷直一 (明石短大)
94. 非等方性散乱大気による拡散反射関数: 上野季夫 (金沢工大)
95. 不規則形状粒子による光の散乱: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大), R. H. Giese (ルール大学)
96. 太陽荷電粒子による惑星間塵の加熱: 向井 正 (金沢工大)
97. 金星の空の色は赤い: 佐藤隆夫 (長崎大学)
98. 18.4 GHz における内合時の金星の観測: 浜本直和, 川口則幸 (電波研究所鹿島)
99. 火星の極冠について II: 鳴海泰典 (九州東海大工)
100. 火星の北極冠の形成と後退: 岩崎恭輔, 齊藤良一 (花山天文台), 赤羽徳英 (飛騨天文台)

(休 憩)

101. 水星の地殻溶融と海の形成: 赤羽徳英 (飛騨天文台)
102. 1977-78 年の北温帯緯北組織暗部について: 浅田 正 (花山天文台)
103. 木星デカメータ波強度変動のスペクトル: 前田耕一郎 (兵庫医大)
104. 土星の環の赤外輝度の tilt effect について: 川田剛之 (金沢工大)
105. 原始地球, Carbon Suboxide, 遺伝コード: 清水幹夫 (東大宇宙研)
106. Primordial Rare Gases の地球物質への溶解: 水野 博, 中沢 清, 林忠四郎 (京大理)
107. 彗星の Physical Life の統計的決定: 中村 士 (東京天文台堂平観測所)
108. 惑星による彗星摂動のパラメーター依存: 小林一司, 藪下 信 (京大工)
109. 長周期彗星の軌道傾斜角と近日点黄緯: 長谷川一郎 (能研), 藪下 信 (京大工)
110. 変形掘摂動論: 久保良雄 (水路部)

111. 近日点引数がひょう動する小惑星: 古在由秀 (東京天文台)

第 3 日 5 月 10 日 午後 1 時 30 分より

112. 衛星の長年摂動 II: 堀源一郎 (東大理)
113. ハイペリオン軌道の要素改良 (1975 年の衝): 畑中至純 (東京天文台)
114. 火星の軌道改良 II: 新美幸夫, 古川麒一郎 (東京天文台)
115. 衛星の発見をもたらす掩蔽観測: 相馬 充 (東大理)
116. 人工衛星ドップラー観測における電離層の影響について: 佐藤克久, 相原 実 (緯度観測所)
117. 162 MHz 衛星電波のシンチレーション: 相原 実, 佐藤克久 (緯度観測所)
118. 時刻比較に及ぼす TV 波中継回線の影響: 堀合幸次, 原 忠徳, 相原 実, 佐藤克久 (緯度観測所)
119. ILS から求めた赤緯, 章動, 地球潮汐補正: 真鍋盛二, 酒井 俐 (緯度観測所)
120. 経緯度観測に及ぼす年周視差の影響 I: 佐藤弘一 (緯度観測所)
121. 水沢 PZT 整約計算プログラムの改良: 北郷 拓 (緯度観測所)
122. チャンドラー運動解析の方法について: 岡本 功 (緯度観測所)
123. 「続日本紀」などにある「星昼見」記事の検証: 斉藤国治 (日大文理)

第 4 日 5 月 11 日 午前 9 時より

124. 紫外超過変光天体 KUV 09313+4052: 野口 猛, 前原英夫, 近藤雅之 (東京天文台)
125. 気球望遠鏡による低温度星の赤外測光 III: 田中 済, 小平桂一, 中田好一, 尾中 敬, 渡辺鉄哉, 長谷川哲夫 (東大理)
126. 紫外域における早期型星の測光: 松井 豊, 早川幸男, 山下広順 (名大理), 伊藤浩式 (東芝)
127. 三重連星系 μ Dra (ADS 10345): 石田五郎 (東京天文台岡山観測所)
128. VV Cep の 1976~1978 年の食の UBV 観測: 中桐正夫, 山下泰正 (東京天文台)
129. δ Sct 型変光星 AB Cas の周期解析: 安藤裕康 (東京天文台)
130. フレア星 YY Gem の $H\beta$ 表面分布の観測: 市村喜八郎 (東京天文台岡山観測所), 小平桂一 (東大理)
131. Be 星のスペクトル変化について II: 門 正博, 小暮智一, 平田竜幸 (京大理)
132. アルゴルにおけるナトリウムの定量: 近藤雅之 (東京天文台), 岡崎 彰 (東大理)
133. 殺星 EW Lac の金属線解析: 片平順一 (堺市科研), 麻田良明, 平田龍幸 (京大理)
134. α Lyr を標準星とした γ Gem の分光解析: 定金晃三, 西村昌能 (大阪教育大)
(休 憩)
135. 赤色巨星大気に於ける水蒸気と温度尺度: 小平桂一, 田中 済, 渡辺鉄哉, 尾中 敬 (東大理)
136. 低温度炭素星の $\lambda 8000$ スペクトル解析: 平井正則 (福岡教育大)
137. 低温度星 Circumstellar Envelope の赤外放射 II: 辻 隆 (東大理)
138. 低温度炭素星における $^{12}\text{C}/^{13}\text{C}$ 比の判別: 藤田良雄 (東海大)
139. 乱対流の乱流拡散係数: 海野和三郎, 福島登志夫 (東大理), 中野 徹 (中大理工), 近藤正明 (東大教養)
140. ケフェイドの対流と恒星活動: 竹内 峯 (東北大理)
141. 回転星の軸対称振動安定性: 柴橋博資 (東大理)
142. 球状星団の巨星の一時的な減光現象: 有本信雄 (東北大理)
143. 核反応の熱的パルスとその極限サイクル: 杉本大一郎, 宮路茂樹 (東大教養), 藤本正行 (新潟大教育高田)
144. 新星爆発の帰還周期: 成相恭二 (東京天文台), 野本憲一 (茨城大理)
145. 新星爆発の統一的解釈 II: 藤本正行 (新潟大教育高田)

第 4 日 5 月 11 日 午後 1 時 30 分より

146. 超新星爆発とブラックホールの形成: 宮路茂樹 (東大教養)
147. 回転する中性子星の安定性 III: 荒井賢三, 上西啓祐 (熊本大理)
148. 中性子星内殻の原子核成分と電子捕獲: 佐藤勝彦 (京大理)

149. 凹んだハンバーガー形の平衡解: 福島登志夫 (水路部), 江里口良治, 杉本大一郎 (東大教養)
150. 質量降着により重力崩壊する白色矮星: 野本憲一 (茨城大理), 宮路茂樹 (東大理), 杉本大一郎 (東大教養)
151. 回転-軸対称相対論的重力崩壊の新しい安式化: 前田恵一 (京大基研), 佐々木節, 中村卓史, 観山正見 (京大理)
152. 軸対称 Black Hole の形成時における Apparent Horizon: 佐々木節, 中村卓史, 観山正見 (京大理), 前田恵一 (京大基研)
153. 相対論的重力崩壊: 中村卓史, 観山正見, 佐々木節 (京大理), 前田恵一 (京大基研)
154. 重力波の初期値解と線型方程式の解: 観山正見, 佐々木節, 中村卓史 (京大理), 前田恵一 (京大基研)
155. 北天銀河 ($l=0^\circ \sim 140^\circ$) の H α 掃天観測: 佐々木敏由紀 (京大理), 小林義生 (海技大), 小暮智一, 作花一志 (京大理), 宮島一彦 (同志社大工), 斉藤 孝, 辻村民之 (京大理)
156. S 237 の写真測光 I: 水野 舜 (金沢工大), 作花一志, 佐々木敏由紀, 小暮智一 (京大理)
(休 憩)
157. W3/W4 近傍の低温 HI ガス: 長谷川哲夫, 福井康雄 (東大理), 佐藤文男 (千葉県教育センター)
158. M17 領域の大分子雲中の HI ガス II: 佐藤文男 (千葉県教育センター), 福井康雄, 長谷川哲夫 (東大理)
159. BN 天体と GL 2591 の狭帯域赤外偏光観測: 小林行泰, 川良公明, 佐藤修二, 奥田治之 (京大理)
160. アモルファス・グレインの遠赤外特性: 関 淳二, 山本哲生 (京大理)
161. HBV 475 における電離ガス包被の膨張運動: 田村眞一 (東北大理)
162. Opaque Core のメーザー源としての可能性: 近藤正明 (東大教養)
163. Laboratory Microwave Spectrum of CH₃OD: V. K. Kaushik, 高木光司郎 (富山大理)
164. Hot gas の存在する星間物質の構造と進化: 羽部朝男, 池内 了 (北大理), 田中 裕 (京大理)
165. 磁気原始星の準静的収縮: 中野武宣 (京大理)
166. 外圧と平衡にある星間雲の安定性: 金成雄三, 佐場野裕 (東北大理)
167. 超新星残骸の進化 II. 重元素量の効果: 福長正考, 佐場野裕 (東北大理)